

参加費
無料

第5回 医療の質向上のための コンソーシアム



『事例から紐解く、質指標活用のヒント』
プロジェクト参加病院 必見！！ 9指標を使った事例です

今回のコンソーシアムでは、医療の質可視化プロジェクトで継続的に質指標を計測し、院内の質改善に活用している病院に、実際の取組みを紹介いただきます。さらに、有識者を交えた議論を通して、質指標の活用方法はもちろん、その意義を深く掘り下げ明日から現場で使えるヒントを紐解きます。

今回取り上げる指標は、診療報酬改定で医療の質向上に向けた取組としても評価されている指標です。奮ってご参加ください。

日時 2025/3/6(木) 17:30~19:00

対象 ■ 医療の質可視化プロジェクト参加病院の医療関係者
■ その他、質指標を活用した医療の質向上の取組みに関心がある全ての医療関係者

定員 1,000名

形式 オンライン配信
(Zoomウェビナー & Youtube)

申込 ~2/28まで WEBにて受付中

下記URLのフォームに必要事項を記入のうえ、お申込みください。

<https://hosp.jcqh.or.jp/public/seminar/view/5048>

- ・ 1回のお申し込みにつき、登録できる人数は1名のみです。
施設で同時に複数端末で視聴をされる場合は、端末分の申し込みをお願いします。
- ・ ウェビナーご案内時のエラー回避のため、同一アドレスの複数登録はお控えください。



医療の質向上のためのコンソーシアムとは

医療の質向上のための体制整備事業で実施する研修会や質改善プログラムへの参加等を通じて、医療の質向上に積極的に取り組み、事例や経験の共有などを目的とした、全国の医療施設や関係者による活動の場(コミュニティ)です。

🔍 <https://x.gd/3zZqD> ×

詳細は裏面をご覧ください

お問い合わせ

医療の質向上のための体制整備事業 事務局
TEL : 03-5217-2326 E-mail : info-qiconf@jcqh.or.jp



公益財団法人 日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care

17:30~17:35 開会・来賓挨拶

加藤 拓馬 (厚生労働省 医政局総務課)

17:35~17:40 医療の質向上のための協議会 委員長挨拶

本会及び可視化プロジェクトの趣旨説明

楠岡 英雄 (独立行政法人国立病院機構 名誉理事長
/ 医療の質向上のための協議会 委員長)

17:40~18:57 質指標の計測とその活用

座長: 楠岡 英雄

コメンテーター:

本橋 隆子 (聖マリアンナ医科大学 予防医学教室 講師)

聖マリアンナ医科大学病院 Total Quality Management室 副室長)

鳥羽 三佳代 (東京科学大学 医療本部クオリティ・マネジメント・センター 講師)

● 可視化プロジェクト速報

的場 匡亮 (昭和大学大学院 保健医療学研究科 准教授
/ QI標準化・普及部会 部会長)

● イントロダクション

質改善活動を考える上での重要なポイント

本橋 隆子

● 可視化プロジェクト参加病院からの事例発表 ①

「**身体的拘束最小化**に向けた取り組み(仮)」

袖川 聖子 (八尾市立病院)

● 可視化プロジェクト参加病院からの事例発表 ②

「**肺血栓塞栓症予防**に向けた取り組み(仮)」

大中 由美子 (ヒロシマ平松病院)

● 質疑応答・コメント

コメンテーター: 本橋 隆子・鳥羽 三佳代

● まとめ

座長: 楠岡 英雄

18:57~19:00 次年度事業予定・閉会挨拶

亀田 俊忠 (日本医療機能評価機構 執行理事)

今回のコンソーシアムでは、可視化プロジェクトにおいて計測する指標のうち「**身体拘束率**」「**リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率**」に関する取り組みをそれぞれご発表頂けることになりました。

指標を活用した、組織的な質改善活動に関心のある方はもちろん、医療安全や患者ケアの向上等に関心のある方にも参考にしていただけます。多くの方のご参加をお待ちしております。